

エルサレムへの嘆き②

ルカの福音書19:47-20:8

2013,3,30 HKJCF

1

概観

序)①弟子たちの讚美②エルサレムへの涙③宮きよめ

- 1、権威論争
- 2、イエス様の権威
- 3、権威について(1),(2)

適用)イエス様の権威に従う

⇒現代社会へ聖書の証言を伝えるのは、
教職者・信徒の共同作業 もし私たちが真
にキリストを主として地の塩、世の光として
生きるなら神の国は大前進する

2

I 権威論争

- 1、指導者たちの動機(殺意)
- 2、権威についての質問
ー公的権威か、私的権威か?
- 3、イエス様の反対質問
ー天的権威か、地上的権威か?
⇒権威に対する態度で人生が決まる
①公的・私的 ②天的・地上的(v22)
③血統・立場/資格・専門的知識・技術/人
格・関係⇒聖書・召命(献身)・賜物⇒愛

3

II イエス様の権威

- | | | |
|----------|---------|----------|
| 1、神の子 | 洗礼 | 3:22 |
| 2、サタン | 荒野の誘惑 | 4:13・4 |
| 3、預言 | 最初の宣教 | 4:21 |
| 4、自然 | 波と風 | 8:24 |
| 5、悪霊・病・死 | ラザロの蘇り | J11:43・4 |
| 6、宗教的権力 | 大祭司カヤパ | 22:54 |
| 7、世俗的権力 | ピラト・ヘロデ | 23:11 |
- ⇒イエス様の権威は神の子ゆえ、しかし
聖書・聖霊/十字架・復活が最大の権威

4

III 権威について(1)

- 1、権威の変遷 教会→国家→個人
- 2、聖書の権威と教会の権威
- 3、宗教改革(聖書の権威への集中)
①中世教会の伝統から聖書へ回帰
→聖書のみ(非聖書的な伝統の整理)
②聖書解釈権を教会から福音そのものへ
→恩寵のみ(福音主義:神の権威の回復)
③神様との仲保者をキリストに集中
→信仰のみ(キリスト中心の信徒主義)

5

権威について(2)

- 4、K. バルトの神の言の神学⇔近代主義
→第1次大戦後、西欧、聖書・啓示の強調
- 5、御国の権威の本質⇔現代社会の混迷
①聖書の権威:信仰と生活の唯一の規範
II テモテ3:15-17
②教会・教職者の権威:聖書に基づく
マタイ16:15-19使徒の働き20:19-21,26-27
③信徒の権威:キリストを主とする時
マタイ5:13-16

6